

長期留学・海外インターンシップチャレンジ奨学金 報告書

2022年8月8日

国際経営学部国際経営学科 4年

上田雄斗

はじめに

私は2021年9月から2022年6月までの9ヶ月間イギリスのエセックス大学に交換留学をしました。この報告書では私の留学生活について留学にあたって、留学中、留学での学びの3つに分けて書いていきます。

留学にあたって

私は大学入学まで海外経験はなく、1年時のグローバルスタディーズでのアメリカへの短期留学が初めての海外の経験でした。約1ヶ月という期間でしたが初めて海外で生活をする経験をするのができとても有意義な時間を過ごすことができました。しかし同時に実際に外国に行き、現地の人との会話の中で自分の英語力がまだまだ足りていないことや世界には自分の知らないことが沢山あると強く感じました。また学生であるうちに外国に行き、直接自分で見て、体験をすることは必ず将来に活かすことができると考え学部での交換留学を志すようになりました。

交換留学の申込みにあたっては留学計画や志望理由などの書類に加えて、GPAと英語のスコア(自分の場合はIELTS)が必要でした。私は元々英語に苦手意識を感じていたため、英語のスコアの取得が交換留学に申し込むための1つの壁でした。そのため交換留学の申込み期限の半年前から準備をし、申込みに必要な英語のスコアを取得しました。

留学先を決めるにあたっては①英語力の向上、②専攻している経営学に関する理解を深める、③日本ではなかなか関わるできないバックグラウンドを持つ人々と交流をすることを目的に留学先の候補を決め、その結果イギリスのエセックス大学への交換留学が決まりました。

留学中

留学先の大学について

私が留学をしたエセックス大学は1964年に設置されたイギリスの国立大学でロンドンから電車で約1時間のコルチェスターという街にあります。15,000人を超える学生が在籍し

ており、その中で全体の 1/3 以上をイギリス国外からの学生が占めているため非常に国際的な環境であることが特徴です。またイギリスの大学は 3 年制で日本の大学にある教養課程というものがなく、入学するといきなり各専門領域に係る授業を受けるというのが特徴です。



キャンパスの様子

授業について

エセックス大学は二学期制となっており、10月から12月の秋学期、1月から3月の春学期、そして4月から6月の試験期間というスケジュールでした。各学期に受講する授業の数も4つずつと日本の大学と比べて少ないです。

私は秋学期にビジネス学部から Business Strategy、Brand Management、Portfolio Analysis の3つの授業と政治学部から Introduction to International Relations の授業を、春学期はビジネス学部から International Business Environment、Management Psychology、Digital Marketing and Social Media の3つの授業と総合科目の The World Transformed: The Enlightenment and Its Critics の授業を受講しました。殆どの科目が週に1度ずつのレクチャーとセミナーから構成されており、レクチャーを受け、その後少人数でのセミナーでディスカッションなどを通じて理解を深めるという形式でした。それぞれの授業に日本の大学のゼミのようなものがセットである形になります。留学当初はレクチャーやセミナーでのディスカッションなどにおいてスピードに付いていくのに苦労しましたが、日々の英語学習と授業前に予習をし、自分の考えを持って授業に参加することで言語で劣る部分をカバーしました。

秋学期の科目では Brand Management の授業が印象的でした。内容としてはブランドの歴史やブランドが持つ意味など基本的な内容から企業とブランドの関係性に注目して顧客に対してのアプローチの方法などについて学ぶというものでした。春学期の科目では

Management Psychology の授業が印象に残りました。組織を心理学の観点から見るという内容で、前半では個人の感情を考慮しないとする行動主義について、後半は個人のアイデンティティを考慮する考えについて学び、新しい知識の習得と理解を深めることができました。

成績・評価に関しても出席点のようなものではなく、コースワークと試験によって決まります。コースワークは主にエッセイで受講した全ての科目でありました。単語数も 1500 words から 4000 words などと私が今まで経験してきたものよりも多く、大変ではあったもののやり切ることができました。またコースワークに取り組む中で授業での学びを更に深めることができたと感じています。試験は受講した 8 科目の内 5 科目であり、4 月後半から 6 月前半の試験期間に行われました。以前は教室で対面での試験だったとのことですが、コロナウイルスの影響もあり、オンラインで 24 時間以内に提出するというものでした。試験はエッセイや問題を解く形式などがありましたが、事前に準備をし、やり切ることができました。



ビジネス学部の学部棟

生活について

ここからは日常生活や課外活動、留学中の旅行などについて書きます。

まずは日常生活についてです。留学中は大学内の寮で生活しました。私の寮は 1 フラットあたり 6 人で、それぞれ個室があり、キッチンなどを共有して利用しました。フラットメイトはイギリス人、ギリシャ人、スペイン人、ブラジル人、中国人の学生でした。学年や専攻は様々でしたが、一緒に料理や食事をしたりする中でお互いの国のことや趣味についてなど話し、楽しい時間を過ごすことができました。

食事については基本的に自炊をしました。イギリスは日本と比べて物価が高いのですが、

スーパーの食品は生活必需品に該当するため税金がかからないか非常に低く、自炊をすることで外食よりも安く抑えることができます。また日本とイギリスでは手に入る食品も違いがありますが、それも含めて楽しむことができました。

また大学内に学習施設以外に運動施設やカフェ、バー、シアターなど様々な施設があり、大学内で生活を完結することができると感じました。

1週間の過ごし方としては平日は基本的に大学内で過ごし、授業を受け、それ以外の時間で予習復習や課題、課外活動、友達と一緒に過ごしました。休日は課題に取り組んだり、時間があるときは街に出掛けて映画鑑賞や食事をしたり、日帰りで旅行をしたりして過ごしました。

日常生活の中で様々な経験をすることができました。その中で特に印象に残ったことはキャッシュレス決済の普及率です。殆どの人がクレジットカードやデビットカードで決済をしていました。またタッチ決済が非常に進んでおり、レストランやお店での決済に加えてバスや地下鉄などでクレジットカードを Suica のように利用でき非常に便利だと感じました。



寮の外観

課外活動では旅行サークルとランゲージカフェ、大学内のサッカーのリーグ戦に参加しました。旅行サークルでは月に1回、イギリス国内の日帰り旅行を行っており、オックスフォードやケンブリッジ、カンタベリーなどに行きました。国内の様々な街を観光でき良い経験ができました。ランゲージカフェでは英語でゲームをしたり、お互いの言語について教え合ったりしました。日本語に興味を持っている学生もおり、彼らに対して日本語を教えることは貴重な経験でしたし、他にも様々な言語に触れることができました。また大学内のサッカーのリーグ戦では毎週水曜日に試合があり、その試合に向けて練習などを行いました。幼少期から続けているサッカーを通じてコミュニティを広げることができ、また同時に異なるバックグラウンドを持つ仲間と試合で勝つという目標に向かって取り組む経験をすることができました。

またコロナ禍での留学でしたが幸いヨーロッパでは規制が殆どなくなっていたため旅行サークルとは別に長期休暇を利用してイギリス国内とヨーロッパの複数カ国を旅行しました。旅行を通じてそれぞれの国の雰囲気や街並み、料理などに触れることができました。また建物や美術品など教科書で見てきたものを実際に見ることができ良い経験ができました。

留学での学び

私は①英語力の向上、②専攻している経営学に関する理解を深める、③日本ではなかなか関わるできないバックグラウンドを持つ人々と交流をすることを目的にイギリスへの交換留学を行いました。まず1つ目の英語力に関しては留学開始前と比べて上達したと感じます。留学当初は授業や日常生活において特に聞き取りのところで苦労しましたが、日々の学習と生活の中で実際に使い続けることで少しずつ英語の上達を感じることができました。しかし同時に英語に関してまだまだ力不足を感じたので、これからも継続して学習していきたいと思います。2つ目の経営学に関する理解を深めるという点に関しても、授業での他の学生や教授とのディスカッションや課題に取り組むにあたって多くの文献を読み込むことで新しい知識の取得と今までの理解を深めることができたと感じています。また経営学についての学びに加えて日本とイギリスの授業の行い方の違いなども知ることができ、今後の日本での学習に活かすことができると思います。3つ目の日本ではなかなか関わるできないバックグラウンドを持つ人々と交流をするということについては寮などでの日常生活に加えて、大学内のサッカーのリーグ戦での活動を通じて多くのことを学ぶことができました。異なるバックグラウンドを持つ仲間と試合で勝つという目標に向かって取り組む中で得た経験は将来に活かすことができると考えています。

またこれらの留学前に決めた目的以外でも多くのことを学ぶことができました。その中でも私が生まれ育った日本についてより知ることができたことが1番の学びになりました。留学中は日本にいたときよりも自分は日本人である無意識に感じていたと思います。日常生活や旅行での驚きや発見は日本との比較の中で生まれるものだと感じています。約9ヶ月間の留學生活を通じて様々な新しい経験をする事ができ、その分日本についても知ることができたと思います。その1つの例として日本は非常に観光資源に恵まれた国であると感じました。イギリスとヨーロッパの複数カ国を訪れ、その中で日本には自然、文化、歴史など沢山の魅力があると感じました。留学を通じて日本についてより知ることができたと思いますし、これからもっと日本のことを知りたいと思うようになりました。

おわりに

イギリスへの交換留学を通じて学習面とそれ以外においても沢山のことを学ぶことがで

きました。貴重な学生時代にこのような経験をすることができたのも学部の教授や職員の方々の支えがあったことだと思います。また長期留学・海外インターンシップチャレンジ奨学金により留学での学びをより濃いものにできたと感じています。改めて心より感謝申し上げます。